

クラス番号	213	ゼミタイプ	サービスラーニング（コミュニティ）型
		担当教員名	小藤あけみ
テーマ	武豊町をフィールドとして行政と住民の協働を考える		

## ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

少子高齢化・環境問題・教育・防災・貧困など地域の課題は多様化しています。また新型コロナウイルスの感染拡大により仕事や住まいを失うなど新たな問題に直面している住民の姿もあります。これらの課題を行政がすべて担うのではなく、住民と行政がお互いの役割を分担し、協働してまちづくりを進めていくことが重要です。

また、今後は共生社会の実現に向けてますます地域の力が必要になっていきます。

武豊町総合計画(たけとよゆめたろうプラン)では、「ともに創るまち」の基本目標の取り組みとして、武豊町提案型協働事業交付金制度があります。この事業は、NPO やボランティア団体、自治区などが地域の課題に対して自ら企画し実施する「公共性のあるまちづくり事業」に対しての交付金を交付するものです。

このゼミでは学生としてこの提案型事業を継続している団体や行政と住民との協働で行っている活動の活動に参加します。

活動を通して、住民と行政のお互いの役割について考え、どのような支援があれば住民主体の活動を継続することができるのか考えていきます。

授業計画：

前期 武豊町総合計画（たけとよゆめたろうプラン）や財政状況資料の学習  
各団体の紹介と各団体について調査  
グループ分けと活動先の決定

夏休み 各団体の活動に参加

後期 活動の振り返り  
活動報告会に向けて資料作成  
地域の課題の解決策など興味を持った点についてさらに研究  
1年間のまとめと研究報告会

## 担当教員からのメッセージ

地域福祉の基本は地域で暮らしている住民が気づいた地域の課題に主体的にかかわり、取り組んでいくことだと思っています。地域にはたくさんの団体がいろいろな思いをもって活動しています。

その思いを感じて、学生の立場で何ができるのか、また皆さんの実家のある町についても住民として地域の課題について何ができるのかを一緒に考えていきましょう。